

CONTENTS ◆みどりのウォッチング ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢・土とみどりの街づくり宣言の今後の展開について
◆グリーンサムのお庭拝見 ◆樹と人と ◆会からのお知らせ

秋のつどいレポートⅡ

みどりのウォッチング

都立園芸高校へ

せたがやの緑を訪ねる催しは26日があいにく雨で中止、28日の実施になりました。この日は雲一つ無い秋晴れで等々力駅に20名が集まりました。バス通りを避けて静かな住宅街を上っていくと、園芸高校の敷地に移植された名木エノキがあります。平成13年に高木邸から枝葉を切りつめて移動したのですが、今は新しい枝が伸び始めました。

正門に廻ると、そこには30本の大イチョウの並木が本館まで続いていて、色づく前の柔らかな緑の色を見せていました。樹齢90年を超えているそうです。この並木の下を歩いて本館前の広場で庭野先生とご挨拶、それから先は先生の御案内で校内を見せて頂きました。まず広場で本校在職中に梨の新品種を育成された菊池秋雄先生の記念碑の説明があり、続いて並木右手にひろがる西洋庭園を見ました。沈床式のフランス整形式庭園といって、噴水の出ている池を中心にカツラの木を配し、美しくデザインされた庭園です。左手はイギリスの自然風景を基調にしたものとのことですが、広大な敷地に1本1本の木が気持ちよく枝を伸ばし、正面広場に茂る金木精の大きさにも圧倒されました。



本館の前を左に進んで木立の中に立つハナミズキは、ワシントン市に贈った桜の返礼に1915年に40本贈られて来た中の1本です。次に訪れたのはバラ園。この木は卒業生でバラの育種家として世界的に有名な鈴木省三先生の寄贈で、バラの品種の歴史を系統的に学べる点で日本唯一のものだそうです。

ユニファーガーデンなどを見た後、温室でヒサカキとヤブツバキ6000本の大量の挿し芽を見ました。これは三宅島の噴火で枯れてしまった森林を再生させるために、当校と三宅高校の生徒が残った島の木の枝を持ち帰って挿木を育て、来春島に植栽するボランティア活動だそうです。生徒が実習で育てている広い畑は、今年の異常気象で葉物は全部駄目のようでした。

盆栽場には1200もの鉢が並んでいました。圧巻は徳川家光遺愛のゴヨウマツ2鉢で樹齢460年だそうです。優雅に凛として形の良い姿は日本の変革の歴史を目のあたりに眺めて来た重みを感じる堂々としたものでした。

秋空の下で1時間余り、広い校内を巡ってゆったりとした雰囲気を楽しみました。その上途中で出会った実習中の高校生の明るい挨拶や、御案内の先生から伝わってくる植物への愛情・卒業生としての愛校心が快く私達の心に響き、すばらしい校内散歩でした。そのあと等々力駅まで歩いて解散し、11名が等々力溪谷まであしを伸ばして、木漏れ日やせせらぎの音を楽しましました。(柳島)



おくさわ今と昔

九品仏川の風景

奥沢2丁目 藤田 武

私たちの年代の悪戯鬼は遊び場と遊びの種類には事欠かなかった。鬼ごっこ、缶けり、三角ベース、やっつけっこ、めんこ、凧揚げ、べい独楽、蟬取り、トンボつり、泥鰌掬い、ザリガニつり etc.

その遊びの一つが九品仏川である。浄真寺(九品仏)の裏に九品仏池(中ノ島があり貸しボートが出るほど大きな池)があり、そこから流れ落ちる水と湧き水を集めて小さな川(現在は遊歩道となっていて、八幡中学の傍から自由が丘を通り緑ヶ丘駅を經由して東京工大の隣で呑川と合流する所まで)が流れており、その兩岸に側道があり桜が植えられ、四季を通じて自然の豊かさを感じさせてくれた。

その流域は広くは無いが未だ田圃や畑が多く、私の家の下は畑でその真ん中に斜面から湧き出した水が溜まって出来た三角池があり、そこにはイモリ、泥鰌、ザリガニ、クチボソ、めだか etc が棲みかとしていた。

この九品仏川の水質はすこぶる良く、全体に川藻が密生し九品仏池から流れ出てしまうのか、鯉、鮒、鰻、スッポン等が生息していた。兩岸は橋の周辺だけ土留めがしてあるが、他は自然の法で草や藪で生物の棲息には持って来いの場所でもあったのではないか。川面は桜の木の本漏れ日でキラキラ輝き、その水面の上を鬼ヤンマが悠然と雄飛し、その傍らをお羽黒トンボはハタハタと忙しそうに飛び交うという風景である。そこへ、兄貴と私が大きなタモで、鯉や鮒を捕りに入る。私はちびっ子で淀みに入ると胸まで浸かってしまう。茂みの下流にタモを置き、上流側から足で蹴ると隠れていた魚は下流側に逃げる。そこにくだんのタモが待ち構えている。「バシャッ」一尺以上ある鯉だ。毎回かなりの戦果があり戦後の食糧事情の悪い時でもあったので我家の食卓の足しにもなり、実益を兼ねた遊び場でもあった。

この九品仏川は姿を変えて自由が丘周辺の遊歩道では若いカップルで溢れており、流れは流れでも、これもまた時代の流れであろう。

- 奥沢・自由が丘あたりの古い風景が写っている写真をお持ちの方はご連絡下さるようお願いいたします。
- このシリーズへの御投稿をお待ちしております。お話をお聞かせ下さる方にはうかがいに参ります。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。



私のくらし

奥沢2丁目 スペース・サトウ 佐藤美代子

私は港区芝浦と云う所で生まれ育ちました。窓を開けると隣の窓か塀しか見えない所で、いつも草木の緑がある所に住みたいと思っていました。結婚して大田区の馬込に住んだ時は大変嬉しかったです。終戦後は轉々と住居が変わり、現在は奥沢で、1軒のお屋敷の跡地に建った8棟の一角に住んでおります。この場所を選ばずには随分あちこちを見て歩きましたが、草木の緑が多い奥沢に決めました。

4・5年前からこの場所で画廊を始めました。私も年を取っておりますので年間4・5回ぐらい季節の良い時に開いています。皆さんが気楽に作品を見ていただければと思っています。お陰で奥沢にたくさんの友人ができました。

屋上は狭い中にいろいろな植木鉢が置いてあります。今年は毛利さんからひょうたんの苗を頂き楽しく育てましたが、とうとうひょうたんは1個も作れませんでした。残念でした。

私は牛乳パックで紙を作ります。屋上で一年草ケナフの種をプランターに蒔いておくと、大きくなって芙蓉に似た黄色い花が咲きます。毎日花を見て楽しみ、そのあと種を採り幹の皮をはいで、その皮と牛乳パックの紙を混ぜて手作りカードを作ります。ケナフは、育つ時に普通の草木より30%多い量の酸素を出して地球の温暖化防止に役に立つ植物との事です。楽しんで育てながら地球の役に立ち、オリジナルの紙を作って楽しめるのは一挙両得です。買物に行く時、奥沢駅の踏切の横に少々土地があり雑草が生えているのを見るたびに、ここにケナフを植えたら良いのではなどと思ったりしております。

■16号で掲載した火の見櫓の写真について、17号で5-14にあったと記載したところ、あの写真はもっと新しい櫓で今の消防署のあたりに立っていたものではないかとの御指摘がありました。推測するところ、奥沢の火の見櫓は5-6の「火の見やぐら跡」の碑の場所から、手押しポンプ・消防車が消防自動車に替わる頃5-14の現薬局のかどに移り、昭和10年代のいつ頃か現在3丁目にある消防署のあたりに移動したようです。くわしく御存知の方はお教え下さい。

「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」の 今後の展開について ★重要事項ですので、ぜひお読み下さい★

平成10年にわずか数人で活動が始まった「土とみどりをを守る会」ですが、せたがやまちづくりファンドの助成も受け、おかげさまで今では会員数が120人を越える会に成長いたしました。年4回の定例のつどいの開催、ニュースレターの発行、街並みを彩るチェリーセージの花の配布といった活動も定着しました。

これまでに選定した「推奨樹木」と「街並み選奨」の他、新たに花木なども加えて一枚の地図に表した「奥沢グリーンマップ」も制作中で、新春のつどいで披露する予定です。(日時は、「会からのお知らせ」をご覧ください)

さて、奥沢二丁目の「大ケヤキのある散歩道」が区の地域風景資産に選定されたことが契機となり、土とみどりをを守る会は、玉川総合支所街づくり課、世田谷区都市整備部街づくり推進課のサポートを得ながら、世田谷区の風景づくり条例に基づく、地域の環境を守り育てるための具体的な仕組みづくりに取り組んで参りました。

平成15年度には、奥沢2丁目在住の82人の方のご署名をいただき、「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」が、世田谷区風景づくり条例に基づく「界わい宣言」第一号として区に登録されました。また同時に、土とみどりをを守る会は「風景づくり団体」として区に登録されました。

そして、今年度は「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」の主旨を具体化するために、風景づくり条例に基づく「界わい形成地区」の制定作業が、区の手によりすすめられています。「界わい形成地区」が制定されると、その対象となる地区に建築の申請があると、設計者や業者さんなどに、区から宣言の主旨が伝えられるようになります。

これは、区の条例に基づく仕組みなので罰則規定はありませんが、特に地区外の開発業者さんなどに、奥沢の街並みになじんだ建築とするための具体的な方法などを伝える手段となるはずです。

「界わい形成地区」の対象とする範囲については、区によって慎重な検討がなされていますが、間もなく、該当する範囲にお住まいの方には、区によるチラシが配布され、説明会が開催される予定です。どうか、ご参加、ご協力をいただけるよう、よろしくお願い申し上げます。

今年度の「界わい形成地区」は、奥沢二丁目の一部が対象となる予定ですが、今後の会の取り組みとして、奥沢の同じような状況のところにも次第に同じようなしくみを広げていくことができないか、検討をしていきたいと考えております。

今後とも会の活動についてのご理解、ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。(堀内)

「奥沢・土とみどりの街づくり宣言」

(平成16年3月31日 世田谷区登録)

宣言の目標

緑豊かな街並みを維持し、心安らぐ街にしていくための住環境づくり

宣言によって生ずる活動の内容

1. 良好な街並みづくり

街並みの調和を大切にし、街の歴史を刻む建物など、語り継がれていく風景を皆で守る。そのためには、住まいと街をつなぐものとしての建物の外壁、塀や柵、擁壁などのしつらえの方法や素材選びなどのアイデアを共有してゆく活動を進める。

2. 緑化の推進

街並みに寄与している「景観木」を推奨し、周囲の住民の理解を得て、その保全に努め、新改築時に既存の樹木や生け垣を残す他、壁面緑化などの工夫を通じて、生活空間を豊かにしてゆくための活動を進める。

3. 地域のコミュニケーション

季節の花がある楽しい街並みづくりや、文化活動を通じてご近所づきあいを活性化し、地域のコミュニケーションを深める活動を進める。

グリーンサムのお庭拝見 Vol.17

10数年前から東急の地所に花壇を作っている2丁目5番地の入月さんを今回は訪ねました。

静かな奥沢駅前のふんすい広場から線路ぞいに歩き左に曲ると歩道橋の奥沢富士見橋へ出る。じぐざぐの階段を下りていくと今を盛りと咲き誇っているエンゼルトランペットと野菊が目に入る。早足で近づくと入月さんが花壇の手入れをしていた。花を育てるのが好きだから花に教わることが多いし観察すると面白い。と入月さんは話し始める。花の育て方を相談する人・絵を画かせてくれとか写真を撮らせて欲しいという人・花を楽しむ人などがこの花壇のある道を通っていくとのことである。今は500ぐらいのチューリップとすみれ・パンジーが裏で出番を待っている。チューリップは童謡の詞のように赤・白・黄

色の3種類それぞれ10個ずつの塊にして1メートルの間隔で植える。北海道のひまわり畑の種を育てる。歩道橋のそばの空地には子供達が座って花の根っこまで見ることが出来るような公園を作るなどこれからすることは沢山あると奥沢富士見橋の名付け親の入月さんは言う。更に落ち葉や抜いた雑草などで堆肥を作り化学肥料は使用しない。雨が降っても土の状態をみて水やりをする。花の気持ちになって育てることが大切。花を育てることで人間も育てられている。講釈は必要ないと話しは続くのであった。

入月さんが一番好きだという野菊に見送られながら「花の気持ちになって育てる」そこまでになれるのはいつの日のことなのかと考えつつ帰りました。
(遠藤)



樹と人と

推奨樹木の持ち主の方に、木にまつわる話・木への思いを語っていただくコーナーです。(毛利)

ケヤキ + 神谷由夫さん (奥沢2丁目27番地)

「父が亡くなって昔のことは分からなくなってしまったが、凡そ150年ぐらいは経っている木でしょう。木の幹に空洞ができたので、区の保存樹に登録されている木だから区に相談しました。樹木医が来て診察してくれたら、大きなバールがスッと入ってしまう程の空洞でした。幹に布を当てて治療中なので、今は生き返るのを待っている状態です。」お話を聞いて、病気を抱えながらも春には芽ぶき、夏には葉を茂らせて木陰を作ってくれたけなげなケヤキが、再び健康な幹を取り戻せるようにと祈りながらあらためて見上げました。

ソメイヨシノ + 橋田通雄さん (奥沢1丁目25番地)

「以前ここにお住まいで現在42才になる方が、奥沢小学校に入学した時サクラの苗木をいただき、庭先に植えたものと聞いています。しっかりと根を張っていますので、コンクリートの部分に割れ目ができてしまうほどです。30数年後の今日までみごとに成長して今は通路の方まで枝が伸び、時折植木やさんをお願いして枝切りをしています。春になると美しい花が咲き、ご近所の方々とおしゃべりしながら眺めています。」



会からのお知らせ

会のホームページ：<http://urbanecology.jp/tsuchimidori/>

●恒例の**新春のつどい**は、1月29日(土)1時半から奥沢東地区会館で開催します。第1部は、箏の独奏・唄と三絃など松島里枝さん(奥沢2丁目在住)による「おくさわコンサート」です。第2部は「おくさわのまちはなし」です。先に選定した街なみ選奨・推奨樹木を織り込んで作ったおくさわグリーンマップに、まちを彩る美しい花を咲かせる木や実を結ぶ木を加えていきます。選定は、スライドでお見せして良い物を選んでいただく方法です。そして「奥沢のまちなみや風景について話し合います。」

●**奥沢新春地区まつり**は1月23日(日)9時半から2時まで東玉川小学校校庭で開催されます。土とみどりを守る会は昨年に続いて参加し、おくさわグリーンマップのパネルと樹木の写真を展示し、ハーブティーでおもてなしをします。御

来場の折にはぜひお立ち寄りください。

●**チェリーセージのプランター**を、新会員の方や界わい宣言の署名にご協力下さった方などにお配りしました。以前からのプランターには土替えや施肥の作業をしました。春になって昨年に増して可愛い花が道を彩るのが楽しみです。

編集後記：新春を迎えた奥沢のまちなみは静かで、門松やメ飾りが陽光に映え、お庭の緑とやさしく調和してお正月の雰囲気を感じ出していました。折節ごとに異なった顔を見せてくれるこの大好きな奥沢のまちで、ことしも一歩ずつ会の歩みを進めていきましょう。どうぞよろしく申し上げます(Y)

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558